



そば物語『種まき編』 8/19

今年で3回目となる、そば作り文化を後世に伝えるためのプロジェクト「そば物語」。今年はそばの種を少し変えてみました。従来の地ソバより、少し大きいそばの種を入手しました！

今年の参加者は3人と少なめでしたが、悪天候の続く中、涼しく天気の良い日に蒔くことができました。

昨年はそばの蒔きムラや、肥料の効き過ぎなどにより収穫が大変でした。そこで、今回は、種の量を計り、一人あたりの蒔く区画を決めて行いました！参加者も自分の蒔くスペースを確認しながら、限られた量を調節しながら上手に蒔いてくれました！今年はどんなそばになるのか今から楽しみです！

今回はお子さんの参加者が多かったため、急きょトマト狩りも行いました！みんなどれが美味しいかなあとハウス中探し回り口に頬張りながら楽しんでいました。

そばの蒔き方や、品種、蒔く量を変えた結果は吉とでるか、はたまた凶と出るか…ドキドキ、わくわくが止まりません！

そして、私たちが作ったそば粉で作る「おおとよガレット」を、ジビエグルメフェスタ、土佐の豊穰祭等で販売します！ぜひご賞味ください！

ガレット出店予定

10/8（日）ジビエグルメフェスタ
（ゆとりすとパーク）

10/14（日）土佐の豊穰祭
（土佐町・ダム直下）

10/28（土）元親こじやんと楽市
（高知市・長浜）

11/3（土）山北みかんマルシェ
（香南市・山北）



「不都合な真実」（地球温暖化啓発DVD）上映への参加ありがとうございました。 7/22

7月22日（日）、8名の参加をいただいてゴア元アメリカ副大統領の映画会を終了しました。雨のため延期したこともあって参加人数は少なかったものの、有意義な映画だったとの評価をいただきました。今後、第2弾の「不都合な真実2」の上映を計画しています。最初の映画から10年後の2017年に公開されたもので副題が「放置された地球」。かつてない危機的な状況であると警鐘を鳴らしつつも、地球温暖化の解決にはまだ間に合うとの事実が示されています。ぜひご参加ください。



レイホクゴロワーズ 8/15-17

レイホクゴロワーズとは：嶺北内の小学生が、大豊町・本山町・土佐町にて様々なアウトドアスポーツを通じ、知力・体力・忍耐力・チームワークを駆使し、2泊3日かけて競うアドベンチャーレースのことです。

※アドベンチャーレースとは：
各地の自然をフィールドに、多種目なアウトドア競技をこなしながら、ゴールを目指すレースで、女性を含む4～5名のチーム戦で行われるものが多い。



⑧ゴールは手を繋いで

①班分け



②体育館レク



③クライミング



④サップ



主催の土佐町・ハピネススポーツクラブ代表の谷泰久君が、嶺北の自然と多彩なアウトドアスポーツを子供たちにも体験させたい、という思いで5年前から毎年開催しています。3町をまたぐイベントのため、保護者を始め施設関係者や有志などの協力が必要不可欠で、格安の参加費と少ない予算のなかでの運営は大変ですが、子供たちの頑張りと成長を目の当たりに出来る喜びは、何物にも代えがたいものがあります。町村の垣根を超え、学年もバラバラで編成されたチームが、最初は体育館での色々なレクリエーションで仲良くなり、ラフティング（今年は雷のため中止）、クライミング、カヌー、サップ、マウンテンバイク、最後はトレイルランと、競技が進むほどにチームワークが出来上がっていきます。2晩の宿泊でお互いの性格をある程度把握し、得意な種目・苦手な種目はお互いカバーし合い、上級生が下級生を支え、下級生は体力の限界まで必死についていこうとする様は、初回からずっと、スタッフとして参加している私は、想像するだけで目頭が熱くなります。嶺北の未来を担う子供たちが、嶺北の素晴らしい環境（自然・人・食すべて）の中で経験することは、大人になっても必ず心に残るであろうと信じて、これからもお手伝いしていきたいと思います。 野田由美子



⑦トレイルランニング

⑤カヌー



⑥サイクリング



あなたの住む集落で「貸したい／売りたい」
空き家をご存じないですか？
大豊町での暮らしを望む方がいます。
文化・風習を継承したい方がいます。
貸しても(売っても)いいという家主さんがいたら、ぜひご連絡ください！

080-8635-2253

総合ふれあいセンター1階ロビーの町の図書施設に 「地球温暖化・エネルギー問題コーナー」開設

コーナーと言っても手製の小さな本立てに次の書籍やDVDなどを並べています。備え付けのノートに必要事項をお書きのうえ借り出してください。

書籍：「異常気象と人類の選択」

「異常気象と地球温暖化―未来に何が待っているか―」
「地球を救う暮らし方」「地球環境にやさしくなる本」
「環境破壊図鑑―ぼくたちがつくる地球の未来―」
「地球のこどもたちへ」

DVD：「不都合な真実」

「不都合な真実2―放置された地球―」

新聞の切り抜き集：

NPO元気おおとよ新聞切り抜き集

8月24日（金）高知新聞「声ひろば」 （読者の投稿）より

「しっぺ返し?!」 土砂災害、川の氾濫、暴風雨、竜巻、猛暑等のニュースを聞くにつけ、「地球のこどもたちへ」という本を思い出す。「…これは助けを求める手紙です。わたしは惑星、地球。あなたがたの住む家、母なる地球なのです。そして、あなたがたと同じように、わたしの体はたったひとつきり。いつも愛され、大切にされなければならないということです。…わたしがあなたに、いちばんしてほしいことって、なんだと思いますか？ それは…、愛すること、です。ただそれだけ。愛することは、大切にすることです。大切にすることは、守ことです」（「ちきゅういのこどもたちへ」より引用）

わたしたちは、どれだけ、地球を自然を大切にしてくたさるうか。けずりとった山に植林をして守ってきたらうか。

異常気象となるようなことをしてこなかったらうか。オゾン層の破壊をしてこなかったらうか。母なる地球からのメッセージをしっかりと謙虚に受け止め、反省するところは反省し、自然のしっぺ返しに立ち向かう時がきているような気がします。